

雛の節句と幼稚園

學習院女學部附屬幼稚園 野 口 幽 香

今までの經驗に據りますと、幼稚園の雛祭りには、保母自身が先づお節句といふものに對して興味を持つことが肝要であるやうに思はれます。保母が夢中になつて、先達ちになり、種々の計畫を試みた年には何時も子供に満足を與へ得て來たやうであります。

それで雛祭りをどんな風にするかといふと、先づ一日頃から、保母も幼兒も一緒になつて雛祭りの仕度に取り掛るのであります。上の組の幼兒達は疊紙で五人囃しや官女などを作ります、これは紙を適當に疊んで一ヶ所か二ヶ所へ缺を入れ、ばよろしいので簡單に出來上るのであります。而してこの紙雛様は保母の作つた紙雛様と一緒に壇の上へ飾られます、一番上に飾る内裏雛は私が子供達

の目の前で、矢張紙で拵へて見せます。而してこれには繪の具で模様を描いたりなぞします。お雛様の並ぶ壇も矢張私が作ります、これは菓子箱の古いのを探して來て墨を塗るのであります。これで先づ飾るべきお雛様の方は出來上るのであります。下の組の幼兒はお雛様に供へるお菓子の方を受持ちます、これはお三寶にチリ／＼紙を切り込んだり、蓮華の花を折つたりすればよろしいのであります。斯うして保母の拵へたものも幼兒の拵へたものも皆一所に飾るのであります。それから尙雛祭りには園に備へてあるあらゆる玩具を持ち出すことになつて居りますので、幼兒達に玩具を雛壇のところまで運ばせます。これが爲めに随分玩具をこわされますが、そんなことは關はず、

幼児にわざと運ばせて居ります。

扱て當月の三日となりますと、大きい幼児は保
姆の指導の下に本當の食べられる豆煎りを拵へる
のであります。豆煎りを拵へない幼児達はお雛様
に供へるために草の花や露の臺や梅の花やを運動
場の隅から集めて來ます。斯ういふことはすべて
正午頃までに終つて了ひます。而して午後は愈々
お雛様の飾つてある遊戯室へ椅子を運び、此所で
豆煎りを食べるのであります。この時、幼児はめ
いゝ思ひのまゝに、歌を唱つたり、お話をした
りするのであります。而していゝ加減に遊んだ時

分にお終ひにします。

當園では毎年三學期になりますと「人形の祝ひ」
といふことをいたします。これは各組に一つ宛そ
の組の人形がありますので、各組が日を決めて交
り番にその人形の誕生祝ひを行ひ、他の組を招待
するのであります。この時は人形に紋附の着物を
被せたり、遊戯室を大食堂に充て、寒天の羊羹
やお芋のちやきんしぼり等の御馳走が拵へられ
りして却々の大騒ぎです。「人形の祝ひ」はつまり
雛祭に味はるべき面白味を繰返すものと見れば見
らるゝのであります。(文責在記者)

早歲幼稚園 久留島 武彦

當園では三月の二十五日が保育終了日になつて
居りますので、雛の節句を幼稚園に於ける最後の
楽しい會合の一に充てゝ居ります。而してこの意
味をなるべく十分に現すやうに雛祭りをしてたいと

思つて居ります。尙雛祭りには平常手の折れるま
で、首のゆがむまで、遊び相手となつてゐてくれ
た愛玩の人形に對する感謝を現すために、五人囃
の下の壇に是等の人形を飾つてやることになつて

居ります。お雛様は嘗つて清水晴風翁から贈られた享保雛を飾るのであります。これは随分古びたお雛様で、高さは一尺五寸以上ありません。その他にも土焼のお雛様や五人囃や官女等を飾りま

す。三日には幼児が「おひなさま」の唱歌をうたつて種々の遊戯をして遊びます、而してこの日には幼児全體に御目出糖を分ち與へます。(文責在記者)

○
番町幼稚園 中 野 よ ね

三日には幼児が各自家庭で雛祭りを樂しみますから當園では特に二日の午後に雛祭りを行ふことに致して居ります。二月の末になりますとお疊の室(三の組の幼児の室にて二十四疊敷)の黒板へ繪を描いて屏風に見立て、その前に積木の箱を三段に並べます、而してこの上に當園に以前から備つて居る(幼児の父兄の寄附に係る)内裏雛と五人囃と官女とを飾附けます、而して幼児達は雛祭りの日を心に待ちながら毎日「ひなまつり」の歌をうたつたり、桃色と紫の色紙を選んで疊紙の内裏様を拵へたり致すのであります。この疊紙のお

雛様も雛壇に飾られます。扱て當日の二日になりますと午前中はお細工物の籠や三寶や角箱や手籠を拵へます。十二時少し過ぎになりますと一同お疊の室に集ります。この時大きい女の子達は皆主人役になり、男の子や先生達は皆お客様になるのであります。午前中一同によつて作られた種々の容器に豆煎り(鹽瀬製)が盛られて、四五枚のお煎餅と共に一同の前に供へられます。それから「おひなさま」の歌を唱ひます。進み出てお話をしてくれる子や餘興を演じてくれる子があります。一同は豆煎りやお煎餅を食べながらこの餘興を見たり聞いたり致して居ります。而して大抵二時頃になると右を終つて一同解散いたします。(文責在記者)